



色麻町 円光大師像

おうじょうじ えいじゅざん おうじょうじ  
王城寺地区にある「永寿山 往生寺」に、県有形指定文化財に指定されている  
えんこうたいし じょうとしゅう ほう  
「円光大師」の像が安置されています。円光大師とは、浄土宗の開祖である「法  
ねんしょうにん おくりな  
然上人」のことで、没後に天皇より贈られた名（諡）です。

東北地方でも西暦 1200 年頃、法然の弟子であった石垣金光により浄土宗が  
いしがきこんごう  
会津を初めに広まり、栗駒に往生寺（現箱根山 往生寺）が建てられ、当初は大  
師の像もそちらにありました。

時は流れて戦国時代、大崎地方の領主であった「大崎義隆」が、夢の中で像を  
おおさきよしたか  
加美に遷して欲しいという大師の声を聞き、烏帽子山の麓に寺を建立して大師  
えぼしやま ふもと こんりゅう  
像を遷し、篤く庇護しました。江戸時代には、大



あつ ひご  
崎氏の滅亡とともに寺も荒廃しますが、浄土宗か  
そうとうしゅう  
ら曹洞宗に改宗し復興します。

明治 42 年に陸軍演習地として王城寺地域が買  
収されたことにより、現在の地に遷りました。